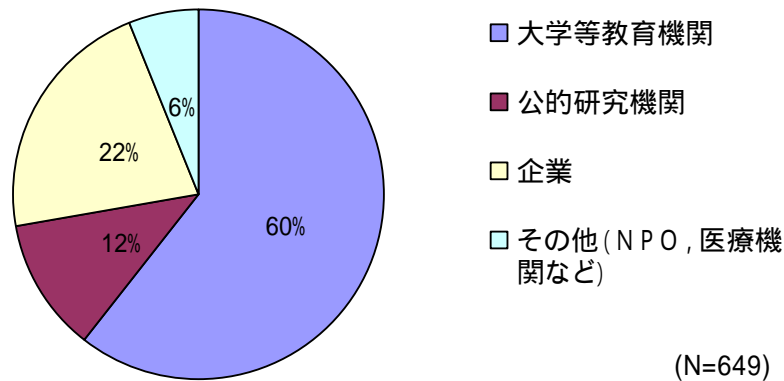


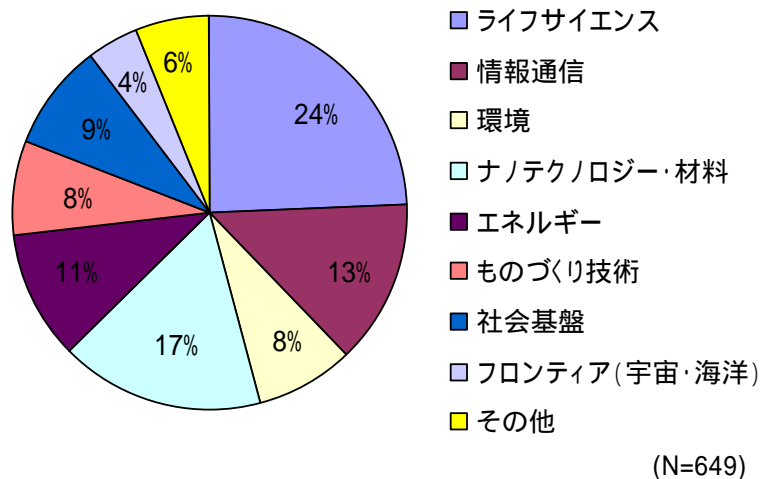
「大学・公的機関等の研究施設および機器の共用化に関する専門家アンケート」 結果概要

1. アンケート調査について

- (1) アンケート調査実施主体：科学技術政策研究所 S c i S I P 室
- (2) 調査目的：先端研究施設や機器のみならず、幅広い研究施設や機器についての共用等の利用の現状について調査し、結果を分析することにより、政策立案に資する。(共用等には、共同利用機関法人が実施する「共同利用」も含まれている)
- (3) 調査方法：専用サーバー上における WEB 調査
- (4) 調査実施期間：2011年10月24日～11月1日(9日間)
- (5) 有効回答数：649件(送信1,737件、回収率37.4%)
- (6) 回答者の所属機関について



(7) 回答者の専門分野について



2. 主な調査結果について

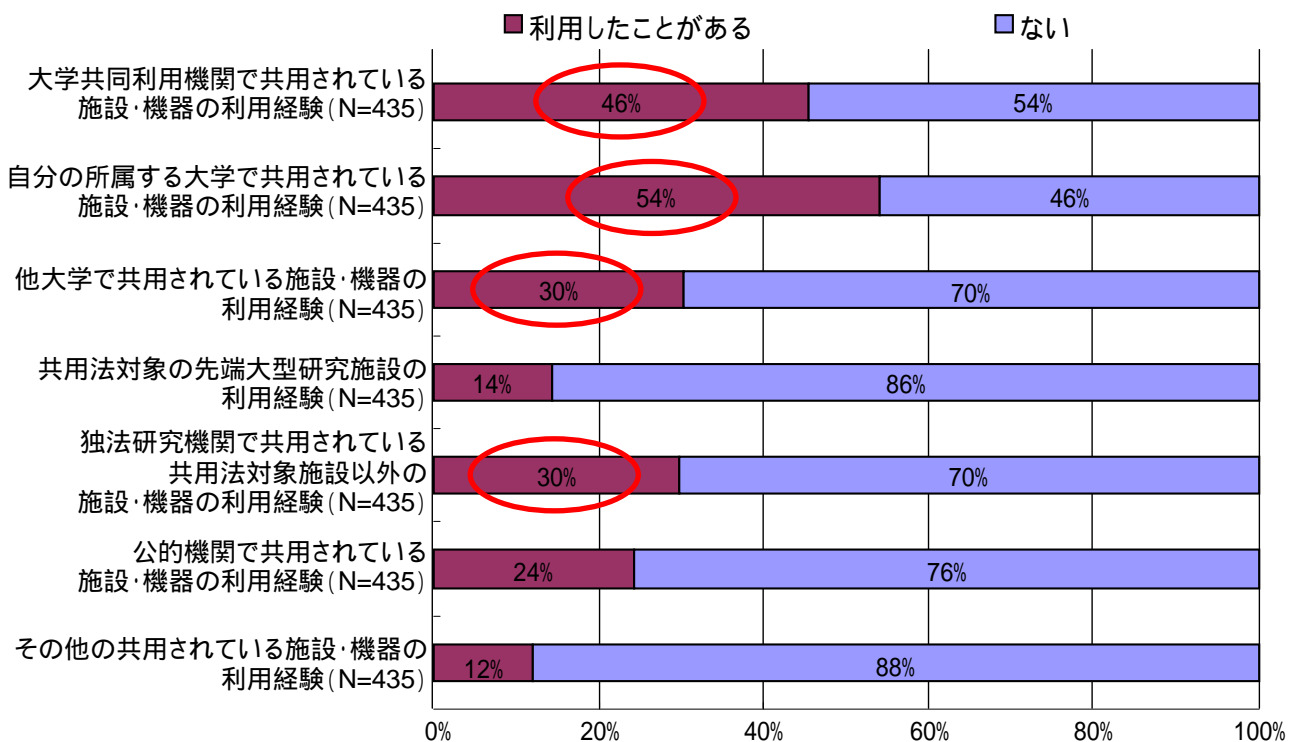
ここに記載した結果は、科学技術政策研究所が実施した調査を元に文部科学省が作成したものである。

(1) 外部の研究施設・機器の利用経験について

- 「自らが所有していない外部の研究施設・機器」の利用については、649 人の回答者のうち67%が利用経験を有していた。

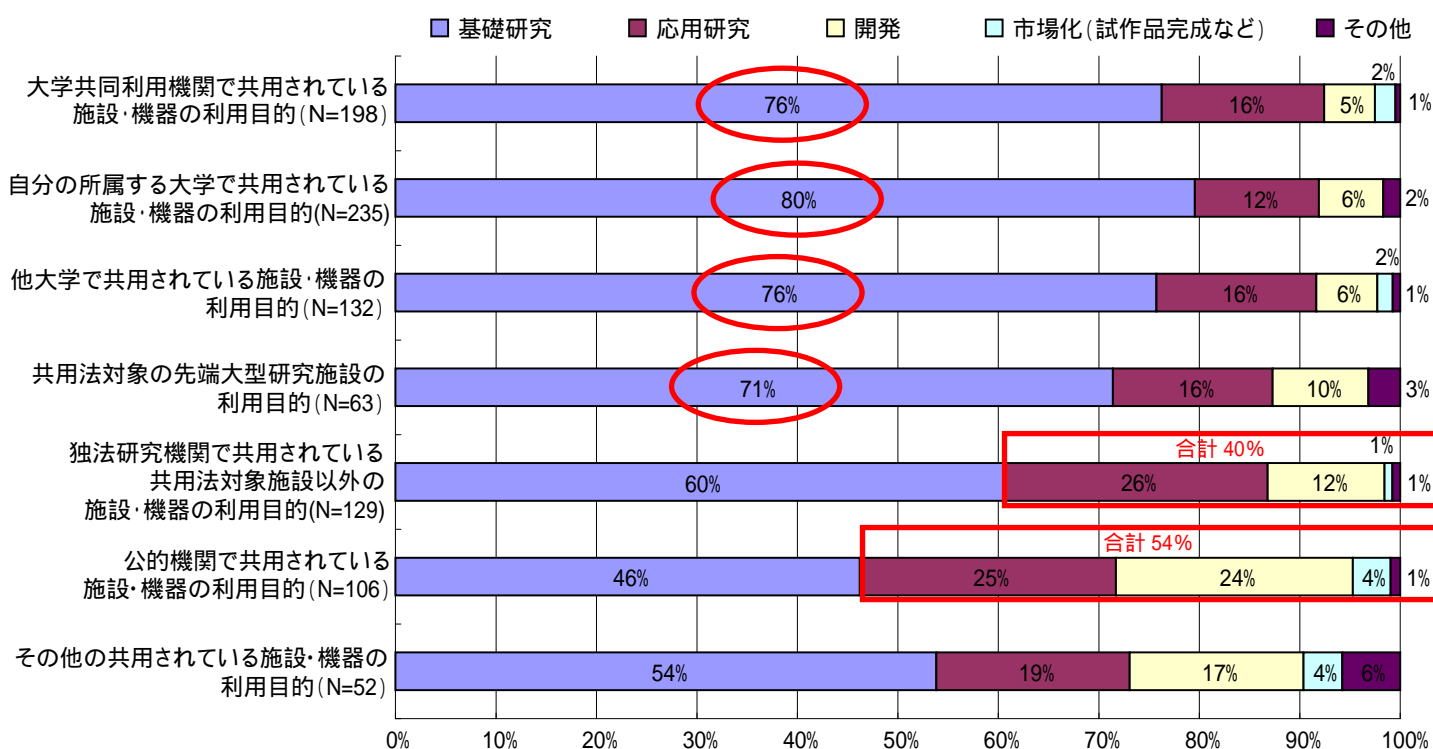
(2) 利用区分について（外部の研究施設・機器を利用したことがある方を対象とした設問）

- 利用先の区分としては、「自分の所属する大学で共用されている施設・機器」の利用率が最も高く（54%）次いで「大学共同利用機関で共用されている施設・機器」、「他大学で共用されている施設・機器」、「独法研究機関で共用されている共用法対象施設以外の施設・機器」の順に高い。



(3) 外部の研究施設・機器を利用した研究開発段階について(外部の研究施設・機器を利用したことがある方を対象とした設問)

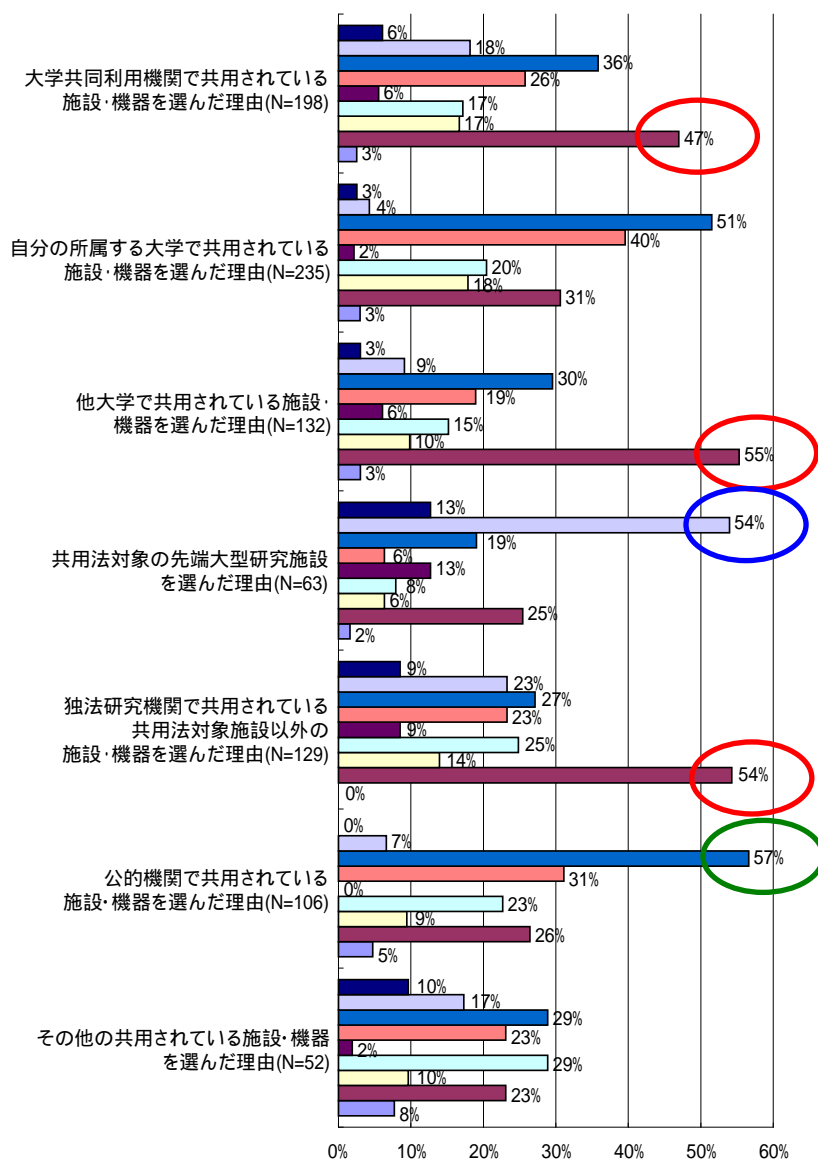
- いずれの施設・機器も「基礎研究」、「応用研究」、「開発」、「市場化(試作品完成など)」の順に多い。
- 「大学共同利用機関で共用されている施設・機器」、「自分の所属する大学で共用されている施設・機器」、「他大学で共用されている施設・機器」、「共用法対象の先端大型研究施設」では基礎研究の利用目的が70~80%を占めている。
- 一方、「独法研究機関で共用されている共用法対象施設以外の施設・機器」では、基礎研究以外の利用目的が40%を占めており、「公的機関で共用されている施設・機器」ではその傾向がさらに強まり、基礎研究以外の利用目的が54%となっている。



(4) 外部の研究施設・機器を利用する理由について(外部の研究施設・機器を利用したことがある方を対象とした設問)(複数回答可)

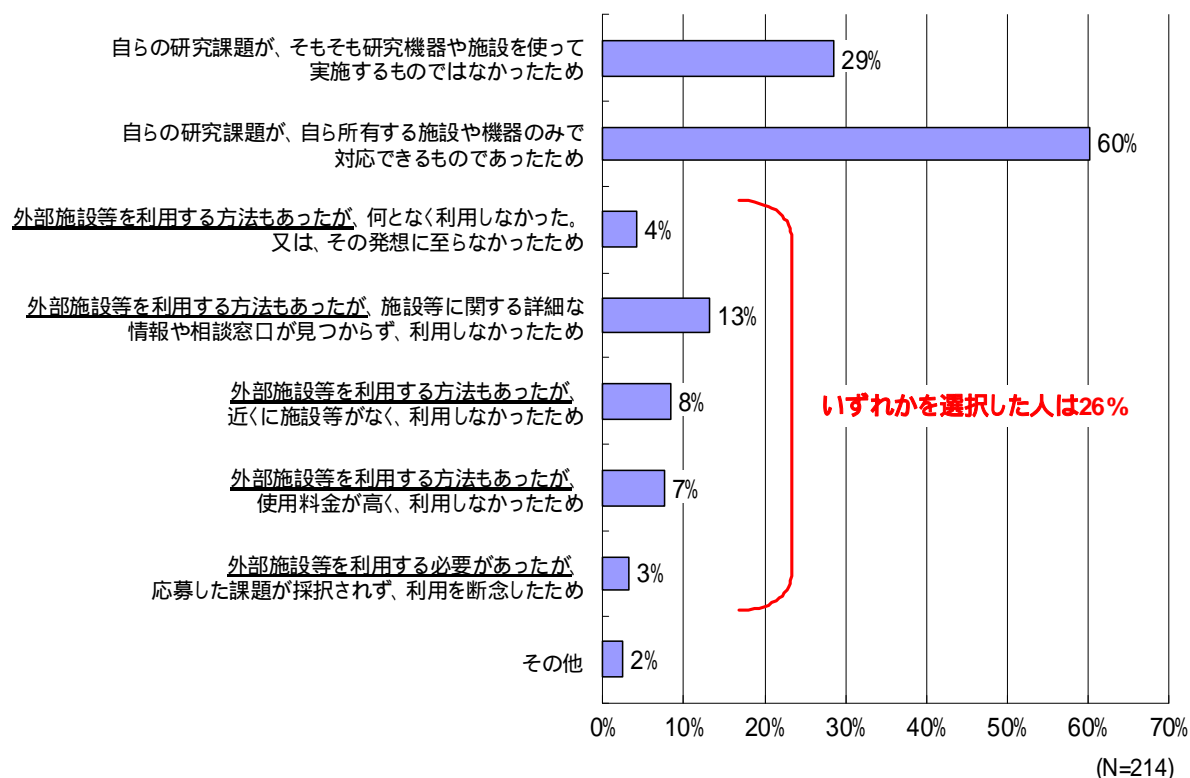
- 「大学共同利用機関で共用されている施設・機器」、「他大学で共用されている施設・機器」、「独法研究機関で共用されている共用法対象施設以外の施設・機器」では、利用の理由として「8. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、当該施設・機器を所有する研究者と共同研究を行ってきた等、過去の繋がりがあったため」が最も多い(47%、55%、54%)。
- 「共用法対象の先端大型研究施設」では、利用の理由として「2. 自らの研究課題にふさわしい施設・機器が、国内に一つしかなかったため」という回答が最も多い(54%)。
- 「公的機関で共用されている施設・機器」では、利用の理由として「3. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、場所が近かったため」が最も多い(57%)。

- 1. 自らの研究課題にふさわしい施設・機器が、世界に一つしか無かったため
- 2. 自らの研究課題にふさわしい施設・機器が、国内に一つしか無かったため
- 3. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、場所が近かったため
- 4. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、使用料が安価、若しくは無料だったため
- 5. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、自らの研究課題が採択される可能性が高かったため
- 6. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、技術指導等、人的サービスが充実していたため
- 7. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、利用申請や成果取り扱い、利用時期等の利用システムが充実していたため
- 8. 国内に複数適切な施設・機器はあったが(あると思うが)、当該施設・機器を所有する研究者と共同研究を行ってきた等、過去の繋がりがあったため
- 9. その他



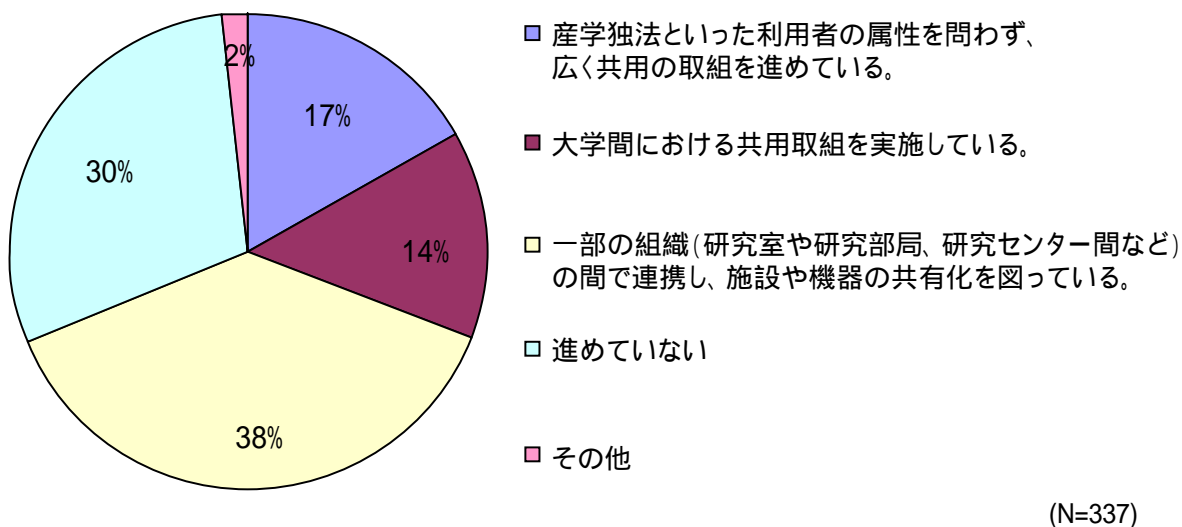
(5) 外部の研究施設・機器を利用しなかった理由について (外部の研究施設・機器を利用したことがない方を対象とした設問) (複数回答可)

●外部施設等を利用する方法もあったが活用できなかった人は 26%存在する。



(6) 外部共用のための取り組みの実施状況について (「 大学や独法に所属し、研究室等において研究施設や機器を所有している研究者、または管理している方 」 を対象とした設問)

●外部共用の実施状況としては、「産学独法または大学間で共用の取組を進めている」、「一部の組織の間で連携し、施設や機器の共有化を図っている」、「進めていない」という回答がいずれも約3分の1ずつ存在している。

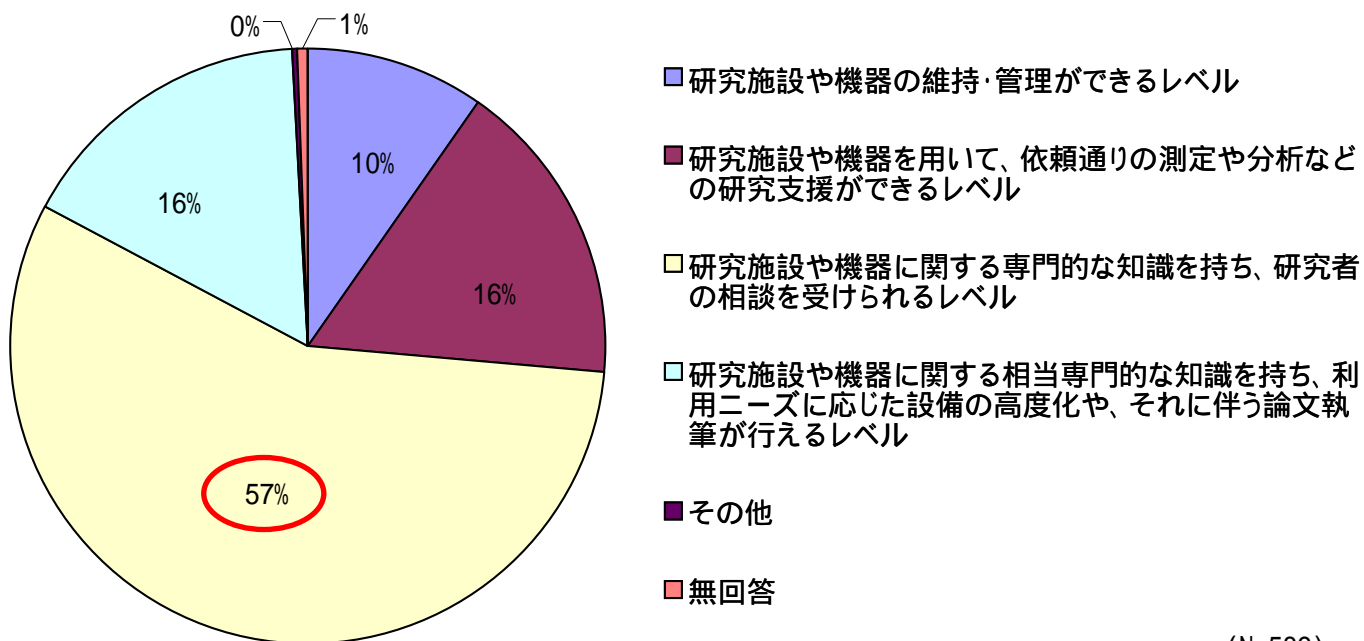


(7) 施設や機器を維持管理するための専門的知識・能力を有する人材について

- 専門的知識・能力を持つ人材の必要性については、「はい」: 91%、「いいえ」: 3%、「わからない」: 6%と、ほとんどが必要性を認識。

(8) 人材に必要な知識・能力レベルについて(専門的知識・能力を有する人材は「必要だと思う」と回答した方を対象とした設問)

- 求める知識・能力レベルとしては、「研究施設や機器に関する専門的な知識を持ち、研究者の相談を受けられるレベル」が最も多い(57%)。



(N=589)